



▲白羽神社拜殿(前側)と白羽神社本殿(後側)の外観



▲白羽神社本殿正面



▲馬の彫刻のある中備(臺股)



御前崎市指定有形文化財

白羽神社本殿

照 会 社会教育課 ☎0537②8735

History

キラリを再発見

律令期の白羽官牧と関係深い神社

白羽神社は、社伝によると現在の駒形神社の社地に834年に鎮座し、その3年後に現在の白羽神社の社地に移ったと伝えられています。

当社は延喜式にいう白羽官牧に発生した牧場(馬)の守護神として古来より馬持ちの参詣する人が多いため、祭典を白羽馬祭と称しました。遠近より参詣の馬はいずれも装飾の美を競い、境内は馬と人で埋まったと言います。近代では農業が機械化され馬の姿すら見られなくなりましたが、馬は疾走中といえども絶対に人を踏むことのない靈獣であることから、現在では自動車の交通安全に信仰が変わっています。

本殿は間口三間、奥行き二間の入母屋流造で、様式上から、江戸中期から後前半あたりの時代的傾向が認められます。また、板壁に蓮花、欄間部分には花鳥の彩描が施され、神仏習合の思想が如実に表れている、歴史的に見て大変貴重なものです。

Atomic

暮らしと原子力

県原子力防災訓練で
浜松市と協力した運営訓練を実施

御前崎市からは107人が参加しました。市内の集合場所から避難地域時検査場所(新東名高速道路浜松SA下り)へ移動し、放射性物質の汚染状況を確認するスクリーニング検査を受けました。その後、避難経由所(浜名湖ガーデンパーク)で避難証明書の

発行を受けました。今回の訓練では、避難者の第一目的地となる避難経由所運営訓練を、実災害時の候補地となっている「浜名湖ガーデンパーク」で実施。避難元の御前崎市と避難先である浜松市が協力した運営体制を検証しました。

静岡県原子力防災訓練の実働訓練が2月6日に実施されました。県、浜松市、御前崎市、自衛隊、県警本部、中部電力(株)を含む約30の関係機関から約320人、住民約360人、合わせて約680人が参加しました。



▲避難経由所における避難所案内訓練の様子



確認、避難者名簿記載、避難所の案内を受けました。避難する際の候補施設で訓練を実施したことにより、訓練が身近に感じられ、認識を深める機会となりました。